

(お知らせ)

福島第二原子力発電所 1号機における
残留熱除去系流量調節弁の動作不良について

平成 18 年 6 月 5 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 1 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は、平成 18 年 4 月 20 日から定期検査中ですが、本日午前 9 時 6 分頃、使用済燃料プールと原子炉側を冷却していた残留熱除去系*（A系）を原子炉側への冷却水供給のみへ切り替える作業において、原子炉に接続された配管に設置してある流量調節弁の開操作を実施したところ、流量の指示が毎時約 450m³であったものが毎時 0 m³を示し、流量が確認できなくなりました。

このため、現場にて当該弁を確認したところ、午前 11 時 28 分、弁本体に何らかの不具合があるものと推定いたしました。

なお、当該弁が閉止状態にあっても、原子炉は燃料プール冷却材浄化系および原子炉冷却材浄化系により冷却機能が保たれています。

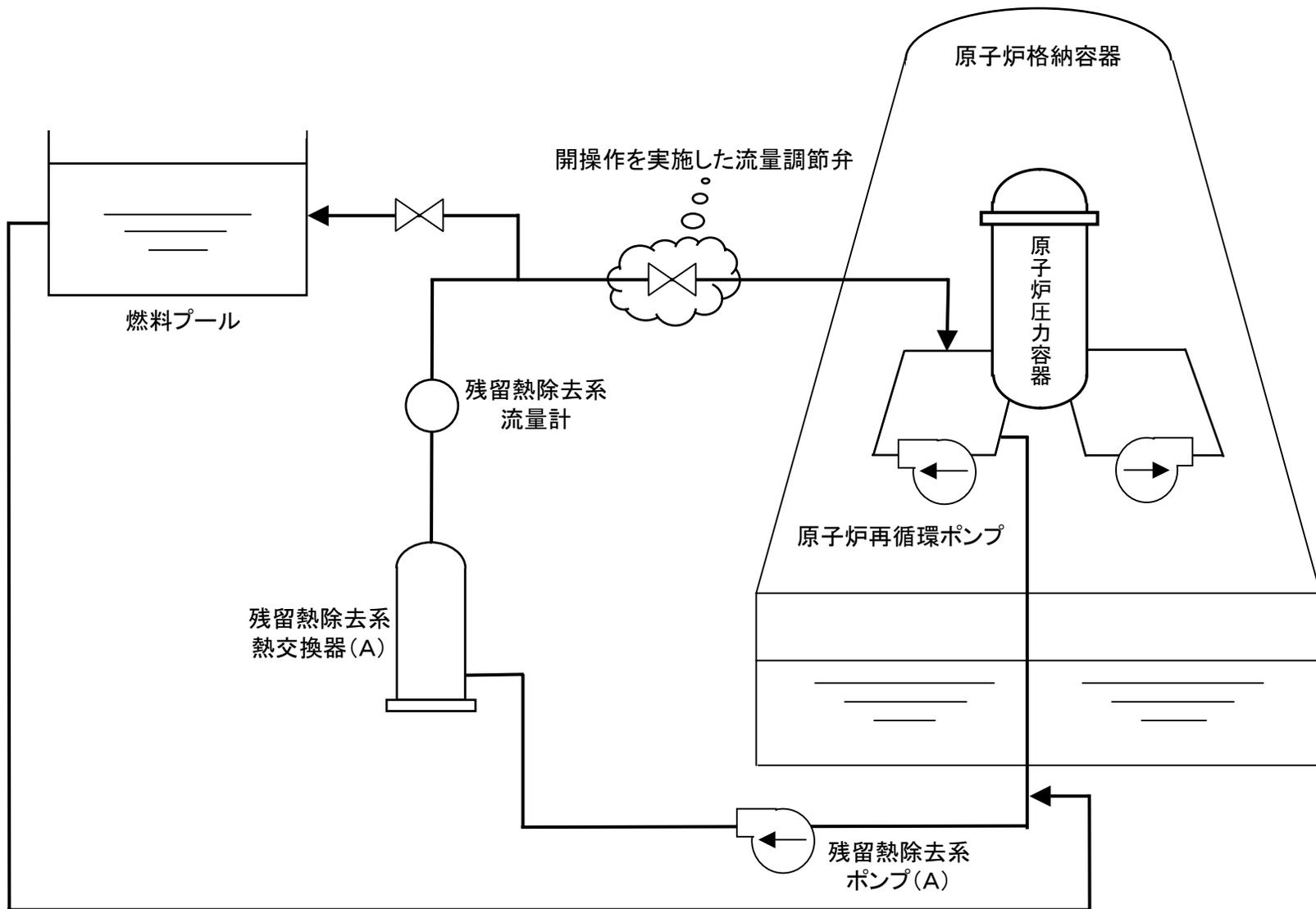
今後、原因について調査いたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

*：残留熱除去系

原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱の除去（燃料の冷却）や非常時に原子炉水位を維持する系統（A系，B系，C系の3系統ある）で、使用済燃料プールを冷却しながら不純物を取り除き水質を保つ系統（燃料プール冷却材浄化系）と原子炉側に冷却水の供給が可能。



残留熱除去系 系統概略図